

*France*



Drawing Claire Felloni © Sopexa

best **wool** club

<http://www.bestwool.jp/>

# 「レーヌマーク」 品質へのこだわり

フランス羊毛協会認定 レーヌマーク



Laines  
de  
France®

羊をめぐり  
ミステリー





# 「レーヌマーク」 品質へのこだわり

フランス羊毛協会認定 レーヌマーク



## Dear friends in Japan,

With growing interest in ecology, health and mental fulfillment all over the world, we note that the consumer today and especially Japanese market are looking for the real appreciation of the goods and services.

"Laines de France" is surely the brand which meets these needs in terms of its quality identification and its fiber performances suitable for bedding.

I am very pleased to present you our finest quality of wool for the Japanese end-use of Futon through close tie-up with leading wool Futon manufacturers in Japan by Best Wool Club members.

We, the Chambre Syndicale des Laines de France, are the group of the main French wool merchants with over the 50-year experiences to commit the quality of French wool which is known as its affluent crimp and bulkiness.

I sincerely hope "Laines de France" Futon will bring you full and enduring satisfaction.

Henri ARNAUD,

Chairman of Laines de French Wool Association

## 日本の親愛なる皆様へ

エコロジー、健康、心の豊かさについて世界中で関心が高まるにともない、今日の消費者、とりわけ日本のマーケットでは、真に価値あるモノやサービスを求めていると言えるでしょう。

レーヌマークは、品質の証明と寝具に最適な素材の性能という点において、これらのニーズに確かに応えるブランドです。

日本の有力ふとんメーカーのメンバーで構成されるベストウールクラブとのタイアップを通じて、日本のふとんにわたしどもの最高品質のウールを提供できることを大変うれしく思っております。

わたしどもフランス羊毛協会は、50年以上の経験を持つウール製造業者の集まりで、豊富なクリンプとかさ高さを誇るフランス羊毛の品質向上に取り組んで参りました。

レーヌマークが皆様にいつまでも最高の満足をお届けできれば幸いです。

フランス羊毛協会会長  
ヘンリー アルノー

## CONTENTS

4	● 1.羊をめぐるミステリー
5	● 2.羊の話
6	● 3.ウールの不思議
7	● 4.ウールふとんですやすや…
9	● 5.ウール寝具なら熟睡できる
12	● 6.「レーヌマーク」品質へのこだわり
13	● 「レーヌマーク」ラベル
14	● スティーム・ドライ
15	● ウールふとんに使われるウール
16	● 「レーヌマーク」品質基準
18	● 7.ウールふとんができるまで
20	● 8.専門用語解説
22	● 9.お手入れの豆知識



©データ・本文協力：ザ・ウールマーク・カンパニー

# 1.羊をめぐるミステリー


このガイドブックでは、「フランス羊毛(ウール)がなぜふとんに最適なのか?」


その理由と特長を、私立探偵Mr.Sheep氏が順を追って、ひも解いてくれます。

さあ一緒に、「羊をめぐるミステリー」を探りましょう。




ある日、Mr.Sheep氏の事務所に、子犬の手を引いた母犬が困った顔で相談に訪れました。


 「うちの子ったら、朝どうしても起きれないのですが…」

 「うむ…。とにかく、現場に行ってみましょう!」

犬の家、子供部屋。Mr.Sheep氏ふとんを虫眼鏡で視察。

 (ひらめく!!)  
「むむ!? お母さん、このふとんは何でできているのですか?」

 「えっ? ウールですけど…」

 (フワフワふとんを触りながら)  
「もしかすると、このふとんにナゾが隠されているかもしれないぞ…。よしっ、ウールについて調べてみよう!」


 「???’」



# 2.羊の話

 「羊と人間との長〜いおつきあい」

羊と人間が初めて出会ったのは遠い原始の昔。紀元前6,000年頃には、中央アジアの高原で羊を飼っていたと言われ、かれこれ8,000年ものおつきあいになるのです。羊には鋭い牙も爪もなく、外敵には弱い動物なので、いつも群れを作って行動します。羊のそんな性格のおかげで、たくさんの羊を飼うことができます。人間は外敵から羊たちを守ってあげて、羊は衣料やふとんに使われるウールや食料のミルクなどを供給してくれる、昔も今も共存共栄の関係が続いているのです。

 「世界にはどれくらいの種類の羊がいるの?」

◎世界で約3,000種

羊の種類はおよそ3,000種にもなり、飼育されている数は約11億頭とされています。羊毛を世界に供給しているのが有名なのは、「レースマーク」ふとんに使われるフランス、イギリス、ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカ、ウルグアイなどの国々です。

これらの羊のいずれもが、生後1~2年から毎年、春になるとハサミで年1回のいわば散髪を受け、原毛を提供してくれます。羊1頭から一度に刈り取られる羊毛の量は、およそ2.5kgから3kgほどです。不思議なことに、これはおよそふとん1枚分の中わた量に近い数字なのです。

フムフム  
なるほど

「フムフムなるほど!  
だんだんウールのことが分かってきたね。  
それじゃここからは、  
“なぜふとんに適しているのか?”  
その秘密を具体的に探ってみよう!」



### 3.ウールの不思議

#### 「ウールの構造上の特長とは？」

##### ◎ウロコ状の繊維

羊毛は、私達の皮膚やツメと同じようにたんぱく質からできています。

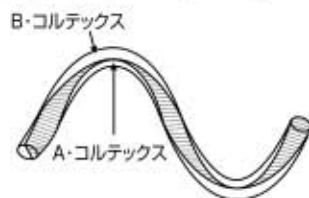
羊毛の表皮は、屋根瓦をふいたようにウロコ状に重なり合っています。このウロコをスケールと呼びますが、スケールは規則正しく毛先の方向に突出しているのです。人の髪の毛のキューティクルと同じですね。ウールの表皮は、湿気は吸収するが水滴をはじくという不思議な機能を持っています。外部の湿度に応じて湿気を吸収したり放出したりするのです。羊毛が“第2の皮膚”と言われる理由はここにあります。



#### 「ウールが“生きているような繊維”と呼ばれるのはなぜ？」

##### ◎“ちぢれ”の正体

羊毛繊維の中心部の皮質部はそれぞれ性質の違う2つの部分に分かれ、これが羊毛の独特の特徴である“ちぢれ”を生み、繊維がよく絡み合い、ふわふわの感触になります。これは羊毛が毛根から生えるときに、種類の異なった2種類の細胞から作り出されるために、微妙な違いを持つ2層構造となるからです。



##### ◎伸ばしても、すぐ元通りに

この羊毛のちぢれを“クリンプ”と呼びます。羊の身体には非常に沢山の毛が密生しているので、1本1本の毛が単独で自由な型をとることができずに、らせんを引き伸ばしたようなカール状になります。

ウールのクリンプは、ウールの構造自体にあるため、糸や織物、ふとんや毛布、カーペットに加工される過程で何度伸ばされても、また容易に元通りに戻ります。だからいつもふかふか、ふわふわなのです。

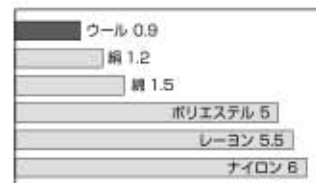
### 4.ウールふとんですやすや…

#### ◎空気を着る

ウールふとんが暖かいと感じるのは、ふわふわと絡み合ったウールのわたの中に、沢山の空気を含んでいるからです。空気の熱伝導率が非常に低いので、繊維組織内にある空気が外部の冷たい空気を防ぐ一方、ふとん内部の暖かさを保つことになるのです。

睡眠中は新陳代謝が低下し体温が下がるので、こうした保温性は大事な要素です。「レーヌマーク」ふとんに使われるウールの羊たちが、アルプスの自然環境でもぬくぬくと過ごすことができるように、私たちの体もウールに包まれてぐっすり眠れるのです。

●繊維の熱伝導率(cal)cm sec.℃×10<sup>4</sup>

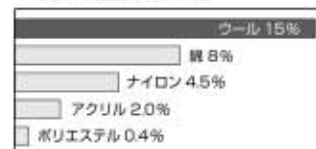


熱伝導率が低いと暖かい。

#### ◎ウールの吸湿性

ウールの吸湿性は、右表のように群を抜いて高いと言えます。ところが、ふとんに限らず靴下でも、ウール製品はムレたり、ジメジメした嫌な感じがしません。これは、ウールが湿気を吸収する性質と、その繊維表面で水をはじくという性質とが共存しているからなのです。睡眠中、体から発散される湿気をよく吸湿し、寝具内の湿度を快適に保ちます。ムレることがなくさらさらの感触。だから一年中、いつも快適な眠りを誘います。

●繊維の吸収率(%)  
(20℃ 湿度65%PH)



吸湿率が大きいと寝ている間にかく汗を水滴にならないうちに吸い取ります。



## 5.ウール寝具なら熟睡できる

### ◎ウールの弾力性

ウール繊維をゆっくりと引っ張ると元の長さより30%も伸び、手を離すとまた元通りの長さに戻るという弾力性に富んでいます。これは、ウールの構造自体からくる特性によるものです。ウールふとんは、圧力を受けてもまた元の状態に戻るため、今日も明日もすやすや、ふんわりとした寝心地がうれしいですね。

### ◎燃えにくい繊維

化学繊維の多くは、一度火がつくと燃えつきるまで消えませんが、ウールは水分を多く含み発火温度が高いため燃えにくく、また燃え広がりにくいのです。この優れた難燃性を利用して、飛行機内やインテリア、レーシングスーツにもウールが使われているのです。ウールふとんなら、万一のときにも安全です。



### ◎ウールは地球にもやさしい



ウールは地球環境にやさしい繊維です。太陽と適度の雨と草があれば羊はすくすくと育ち、地球環境を破壊する懸念も、資源が枯渇する心配もありません。また、動物繊維のウールは、タンパク質で構成されていますので、完全に生分解される繊維です。ウールが完全に生分解され土に戻るまでの期間は、土壌の質や湿度など環境条件によって左右されますが、一般には1~3年位と言われています。自然から生まれて自然に戻る、地球にやさしい繊維です。

### ◎ウールの快眠データ

ウールは繊維製品中、最大の吸湿率を誇る、繊維の王様です。この特徴は、ムレの原因となる湿度を低下させ、他のどの繊維よりもムレを防ぐことができます。そしてウールの持つ、繊維のちぢれ(クリンプ)が、適度な反発力をもたらし、体圧をうまく分散します。

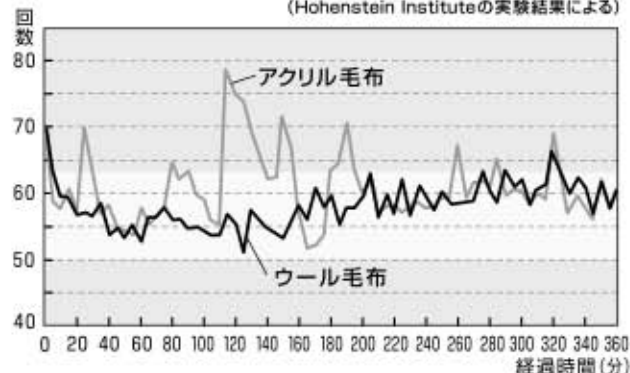
ムレないことは、快適なことです。ムレない快適さを追求すると、シーブスキンを始め、様々なウール製品に行き着きます。快適な寝具は熟睡をもたらします。

その一例をご覧ください。ウール毛布は睡眠中の心拍数がアクリル毛布よりも低く、より熟睡できることが著名なホーエンシュタイン研究所により証明されています。

また、最新の研究ではウールの敷きふとんはポリエステル製の敷きふとんより眠りが深い傾向にあるという研究結果も出ています。

### ●ウール100%毛布とアクリル毛布/熟睡中の心拍数比較

(Hohenstein Instituteの実験結果による)



ウール毛布の心拍数の方がアクリル毛布よりも少なく、熟睡していることが分かる。

ウールは19種類のアミノ酸からなる動物繊維。人に極めて近い素材です。人にとって違和感がなく、自然に近いのです。

ストレスの少ないウールは、赤ちゃんやお年寄りにも快適で安心感のある素材と言えます。





### ◎ウール寝具で心地よい睡眠のわけ


静止した定常状態でも人間は常に皮膚から水蒸気を放出しています。さらに、睡眠中は代謝が低下するため、体温が下がります。そのために、皮膚血管を拡張し、発汗量を増やす生理作用を伴うため、睡眠時には汗の量が増える傾向にあります。そのため、快適な眠りに必要な寝具の条件は、吸湿性が良いことです。羊毛ふとんや純毛布のようなウール製品であれば身体から放出する湿気を吸い取り、それを外部に放出してくれる性質を持っているので、ふとんの中はいつも爽やかで、心地よい睡眠を満喫できます。


また、寒い冬場においても、ウールの寝具であれば就寝中の汗を寝具が吸収して、爽やかな寝床内気候を保ってくれるだけでなく、吸着熱によって暖かい睡眠をとることができるのです。


通常の保育でウールマットを使用した場合においてもその特徴が表れています。乳児に安定感を与えるのか、ウールマットの上ではあまり泣かなかった、授乳の後、ウールマットの上で寝かせるとすぐ寝つくなど、羊毛を人の肌に接すると、人は本能的に母のぬくもりを感じ、本能がちゃんとその快感を読み取るものと思われています。


 「こうしてみると、ウールがふとんに適している繊維だということがよく分かったでしょう。」

 「はい。納得!」

 「さまざまな魅力をもつウールは“繊維の王様”と言われるのですよ。ところでお母さん、これはどんなウールふとんですか？」

 「えーと、ラベルをみると… フランス羊毛協会認定のウールです。」

 「やはり、ボクが朝なかなか起きれないのは、フランス羊毛協会認定のレーヌマークのウールふとんが、あまりに心地良過ぎたからだったんだね。」

 「そうだったんだ(笑)」



## 6. 「レーヌマーク」 品質へのこだわり

フランス産ウールは、軽くてコシがあり、豊富なクリンプ(繊維のちぢれ)によるかさ高性があります。ウールふとんに適した素材として、もっともよく使われていますが、今までその品質を証明する目印のマーク(商標)がなく、本当に良いものを分かりやすくお伝えすることができませんでした。

そこで、日本の有力ふとんメーカーで構成されるベストウールクラブでは、フランス羊毛協会と品質に関する業務提携を結び、フランス産ウールの原料段階から製造工程に至るまで、確実な品質管理を行う基準を設けることになりました。その証明となるマークが「レーヌマーク」なのです。



## 「レーヌマーク」ラベル

### ◎ロゴ/フランス羊毛協会認定証



### ◎コンセプト

アルプスの厳しい自然環境の中で育つ羊は、軽くてコシがあり、湿気を吸収し放湿するウールの特性により、夏涼しく冬暖かで、衛生的で快適。理想的な健康寝具と言えます。



# スチーム・ドライ

◎レースマークはスチーム・ドライ加工が必須条件です。

ウールの長所をより一層発揮させ、ふとん用素材としての“理想”に近づけるために“スチーム・ドライ加工”の工程があります。スチーム・ドライ加工は、ウールに高温の蒸気・スチームを与え、それを急速乾燥させることによって、ウール本来のちぢれ(クリンプ)を回復させます。

高温のスチームで、温度99.5℃、含水率3～5%の状態を保ち、ウールをゆっくり通過させます。ウールは平均状態で60%にもものほる空気を含んでいます。

この温かさの基になる空気をいったん吸出し、高温のスチームに入れ替え、ウールふとんわた全体をスチームに浸します。

この工程を通すことによって、ウールは寝具に必要なクリンプを回復し、保温性とかさ高性を飛躍的に高めます。

ベストウールクラブメンバー各社は必ず高性能スチーム・ドライ設備を完備して優れたウールふとんをお届けしています。

## ●ウールのスチーム・ドライ加工と未加工の比較

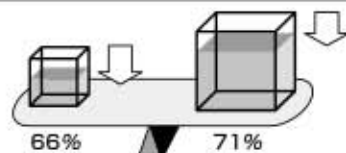
〈未加工ウール〉 〈スチーム・ドライ加工あり〉

テスト①  
比容積 (cm<sup>3</sup>/g)



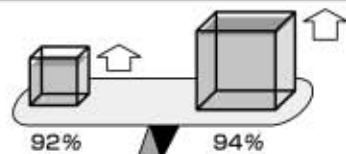
グラムあたりのかさ高性に優れている。  
これで同じ重さ!

テスト②  
圧縮率 (%)



圧力を加えても、へこみにくい。

テスト③  
回復率 (%)

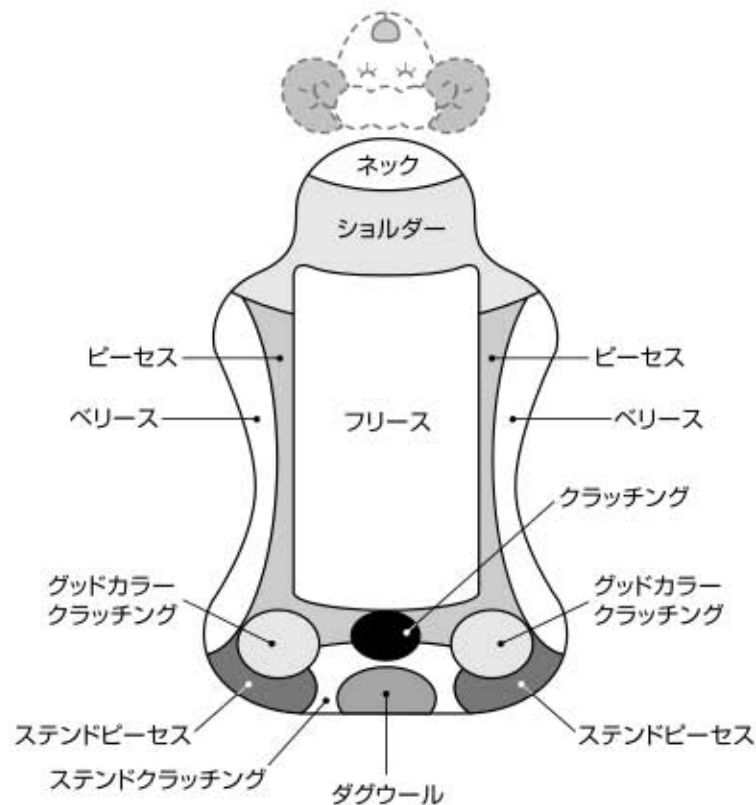


もとに戻る回復率もアップ。

# ウールふとんに使われるウール

◎羊毛の各部位の名称

毛刈りをした羊毛(1頭分)を広げて上から見た図。  
画面上部が頭、画面下部が後尾となる。



ショルダーからフリースの部位がウールふとんには適しています。



# 「レーヌマーク」品質基準

それでは、「レーヌマーク」の品質基準をみてみましょう。

## ●当該マーク対象羊毛原料の条件

(1) フランス羊毛協会が発行するサティフィケート付き羊毛原料を使用すること。

- ① フランス産のバージンウール100%であること。(ノイルおよびスライブは認めない)
- ② フランスの工場で洗浄したウールであること。(現状は、バスコ社のみ)
- ③ フランス羊毛協会所属のシッパーより輸出されること。

(2) 輸入業務は、BWC賛助会員が行う。

## ●〈スタンダード〉品質基準

品質基準項目	基準値	試験方法
① 植物性夾雑物の混入率	0.8%以下	JIS-L-1082
② 油脂分(残脂率)	0.3%以下	JIS-L-1081
③ Ph	7±2	QTEC法

\*スチーム・ドライ加工は必須条件



ロットナンバーでしっかり管理されているから、「レーヌマーク」ふとん商品は、どのメーカーで生産されたか、フランスのどこの羊毛原料がいつ加工されたかまで分かるんだよ。

## ●〈プレミアム〉品質基準

品質基準項目	基準値	試験方法
① 植物性夾雑物の混入率	0.5%以下	JIS-L-1082
② 油脂分(残脂率)	0.2%以下	JIS-L-1081
③ Ph	7±2	QTEC法
④ 清浄度	200m/m以上	QTEC法一羊毛中わた清浄性試験

\*スチーム・ドライ加工は必須条件

もしくは、〈スタンダード〉の品質基準を満たし且つ下記条件を1つ以上満たすこと。

- a) 化炭加工したもの(フランス国内で加工したものに限り)
- b) 防縮加工したもの(フランス以外の国で加工したものも認める)
- c) 羊種(ブリード)が特定され証明されるもの
- d) エコマークの対象となるもの
- e) 羊毛に特殊加工(抗菌・防臭/防ダニ/遠赤効果/発熱効果/ウォッシュャブルetc)したもの

\*その他、高付加価値機能羊毛についてはその都度、執行部の承認を得ること。

## ●当該マーク対象製品の条件

- ① 1枚あたり1.0kg以上の当該フランス羊毛を使用すること。
- ② 敷きふとんの中芯材の組成は対象外とする。(巻きわたのみ対象)
- ③ ウールと他繊維のブレンドは認めない。  
(但し、分離積層タイプはウール使用部分が当該品質基準を満たしていればOK)

## 7.ウールふとんができるまで

### ◎大別すれば、4つの工程

ウールふとんは、大別して①製綿、②キルティング、③縁取り、④仕上げ・検査など4工程を経て完成品となります。ベストウールクラブのウールふとんは、これらの加工工程の1ステップ1ステップが、厳密に管理・運営されているからこそ、ウールふとんの高品質が保証されるのです。

### ◎ウールわたができるまで

ウールは、剪毛(毛を刈る)工程から始まって、選毛、洗毛、などの工程を経て日本に運ばれます。

#### 〈剪毛工程〉SHEARING (シアリング)

羊から普通は年1回、毛を刈り取りますが、これを「ション・ウール」と言います。屠殺後羊の毛皮から毛を引き抜いた「スキン・ウール」や、病死した羊から抜き取った「デッド・ウール」と厳密に区別されます。もちろんベストウールクラブでは「ション・ウール」だけをふとん原料に使用します。

#### 〈選毛工程〉SORTING (ソーティング)

羊毛は当然のこととして刈り取られた毛の部位により、毛の太さ、長さ、ちぢれの状態が異なります。このため、原毛を一定の規格に合わせて取捨選択し、同質のものを選り分けることが必要になります。この工程を選毛工程と言います。

#### 〈洗毛工程〉SCOURING (スカウリング)

この工程で羊の分泌物の脂や、原毛に付着している不純物を洗い落とします。

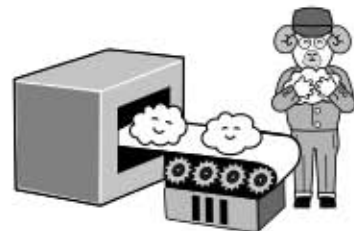
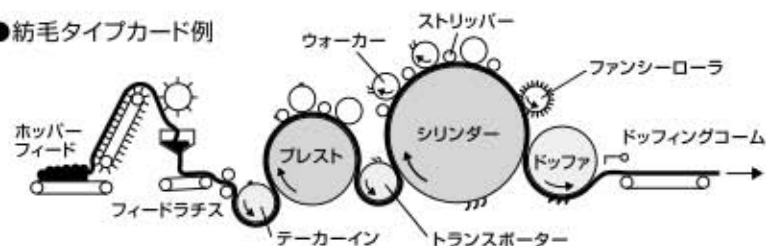
#### 〈炭化工程〉CARBONIZING (カーボナイズング)

原料の種類によっては、混入している植物性物質を炭化させて取り除きます。

#### 〈防縮工程〉SHRINK PROOF (シュリンクプルーフ)

原料の種類によっては、フェルト化を防ぐ加工をします。

### ●紡毛タイプカード例



### ◎ふとんができるまで

#### 〈開織〉

カーディングに先立って、原毛に含まれる不純物や、短い繊維を除去します。

#### 〈カーディング〉カード工程

ふとんわたの品質を左右する、重要な工程がカード工程です。白く洗い上がった羊毛を一本一本カード機の針でときほぐし、均一な膜状にします。

ウールの繊維を平行に並べるよう開織し、ウェブ(長さも幅をもった繊維層)を作ります。

#### 〈ウェブ積層〉

カード機から、均整に開織されて出てきたウェブが折りたたまれ、連続的に大きさと厚さが一定な「中わた」に仕立てられる工程です。

#### 〈スチーム・ドライ〉

ウールに高温の蒸気を与え、それを急速乾燥させることによって、ウール本来のちぢれ(クリンプ)を回復させます。

カード工程を通った繊維は、クリンプが少し伸びるため、高温スチームを通し、さらに急速に乾燥させることにより、羊毛のクリンプを回復させます。それ故か高性と弾力性が向上します。

“スチーム・ドライ加工”の工程は、ウールの長所をより一層発揮させ、ふとん用素材としての“理想”に近づけるためにあります。

#### 〈側の縫製工程〉

ウールわたの吹き出し防止加工をした生地、表地の柄がゆがまないように注意深く縫製します。

#### 〈わた入れ工程〉

ふとんわたをムラなく、すみずみまでいねいに側地の中に包み込みます。

#### 〈キルティング・ヘム付け〉

この工程は、中わたがふとんの中で動きまわらないように、側地と中わたを縫い付ける作業で、大型のミシン・コンフォーターマシンでしっかり縫いとめられます。

更に次のヘム付け工程で敷ふとんの周りにヘムを付けて生地と中わたをしっかり縫い付けます。

#### 〈検査工程〉

こうしてできあがった羊毛・ウールふとんは、ラベルを付けられ検針等の最終検査を経て、皆さんのお手もとに出荷されます。

## 8.専門用語解説



### ◎企業・団体

【BWC】日本の有力ふとんメーカーが、1985年に結成した「ベストウールクラブ」の略称で、ベストなウールふとんをつくる会の意味が込められている。

【フランス羊毛協会】プロヴァンス地方、サントル地方、ピレネー地方で生産されるフランスウールの製造販売を管理(サティフィケート:証明証を発行)する協会。1945年設立。

【バスコー社】フランス、マザメ市にあるスカード(きれいなウールわたを作る製造工程)工場。19世紀から羊毛事業に乗り出した同社は、1923年会社を設立。3交代(24時間操業)で月間500トンの洗浄と、100トンの化炭加工を行う、フランス唯一のスカード工場。

【シッパー】輸出荷送り業者。

### ◎羊毛原料

【バージンウール】新毛の事。トップやノイルも含まれるが反毛や再生羊毛は含まれない。

【ノイル】梳毛紡績中のコーミング工程で取り除かれたネップ、及び植物性夾雑物を含む短繊維の事で、レースマーク品質の対象外。

【スライプ】屠殺した羊の皮から石灰方によって抜き取った羊毛をスライプと呼ぶ。レースマーク品質の対象外。

【ダグウール】ダグとは糞の事で、主に羊の下腹部周辺の毛を集めたものを、安くダグウールとして流通しているが、レースマーク品質の対象外。

【再生羊毛】織物、毛糸、フェルトなど一度製品として使用された物を回収後、反毛処理などをし、わた状にしたものだが、レースマーク品質の対象外。

### ◎ウールの加工

【化炭加工】植物性夾雑物を酸化処理によって炭化させ除去する加工。

【植物性夾雑物】羊が放牧中に身につけた草の実やワラクズや牧場の土砂などのこと。

【防縮加工】天然繊維の表面垢膜を侵食させる塩素処理加工を施し、ハーコセット樹脂を繊維の全表面に塗布する事により、フェルト化を防ぐ加工技術の事。各国、メーカーにより、クロイ、ダイラン、パソラン、フェルトストップ等の加工方法が存在するが、基本的な加工コンセプトは同じ。

※フェルト化とは:ウール繊維表面のスケール同士が絡み合い、固まってしまうこと。

### ◎フランス羊毛の主な種類

【プレネール】PLEIN-AIR

このタイプの羊は1年中放牧で生育される。

毛色が白く、ごみも少ない上質羊毛で、弾力性とクリンプに優れている。

【セミプレネール】SEMI PLEIN-AIR

このタイプの羊は1年の内、半分を外で、半分を屋内で過ごす。そのため、毛色は若干黄色部分が含まれ、夾雑物もやや多く含むが、弾力性とクリンプに優れている。

【ベルジュリー】BERGERIE

このタイプの羊は屋内で飼育されます。そのため、毛色は黄色で、夾雑物も多く含まれるが、毛質が非常にちぢれているのが特長で弾力性に富む。



## 9.お手入れの豆知識



### Q.1 羊毛(ウール)ふとんが汚れましたが、クリーニングはできるでしょうか？

- A. 羊毛(ウール)ふとんのクリーニングは、ドライクリーニング又はふとんの丸洗い業者による水洗いができます。ただし、クリーニングする場合には専門業者か、寝具専門店にご依頼ください。ご家庭での水洗いは、ウォッシュابلと表示してある薄いもの以外はお避けください。



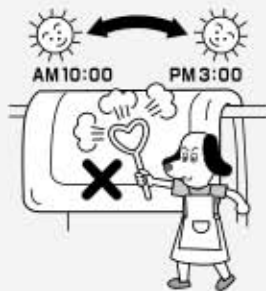
### Q.2 羊毛(ウール)ふとんは日に干さなくて良いでしょうか？

- A. 日干しすることによって、吸収した湿気やにおいを取り除き衛生的にご使用いただけます。また、日干しは殺菌効果もあり、ヘタリを少なくする効果もありますので、日干しすることをお勧めします。

日干しは、週に1回程度、2時間くらい、午前10時から午後3時まで(真

夏は午前中)にカバー等を付けたまま干してください。または、ふとん乾燥機を使用しても構いません。

ふとんを取り込む際には、ブラシでほこりを払う程度にして、強い「ふとんたたき」はお避けください。詰めものやふとん生地を傷める恐れがあります。

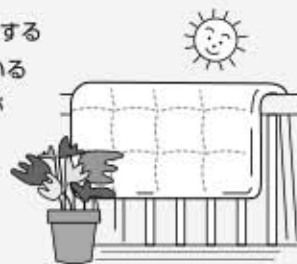


### Q.3 買ったばかりなのににおいがしますが、どうすれば良いでしょうか？

- A. 自然で育った羊から収穫されたウールは、ていねいな洗い加工が施されてウールふとんになります。それでも産地や収穫時期等により、天然繊維ウールのにおいがすることがあります。日干しをして乾燥させることで湿気とともに取り除いてください。

### Q.4 羊毛(ウール)ふとんからダニは発生しますか？

- A. 羊毛(ウール)ふとんからダニが発生することはありません。しかし、家庭内にいるダニがふとんの表面に付着することがありますので、お部屋のお掃除やふとんの日干しなど普段の手入れをお勧めします。



### Q.5 羊毛(ウール)ふとんから毛が出てきますが、どうすれば良いでしょうか？

- A. ウールの表面はウロコ状となっており、ふとん生地から毛が出やすい性質があります。多少の吹き出しであれば使用上は問題ありませんので、カバー等で覆って使用してください。しかし、吹き出し量が多い場合には、購入店又はメーカーにご相談ください。